

《企業紹介》

同社はベトナムの最大の ICT（情報通信技術）企業である。1988年に創業し、金融機関や行政サービス等の大規模情報システムの開発受託により 1996年にベトナム国内最大の ICT 企業となった。国内での事業基盤を固めながら技術力の向上に努め、今では世界 30ヶ国以上に拠点を展開するグローバル企業となり、フォーチュン 500 にランクされる世界的大企業のうち 100 社以上を顧客にするなど、国際競争力のある技術力とサービス品質を、ベトナムの人件費水準で提供できるという強みを発揮して世界の ICT ビジネスのサプライチェーンでの存在感を高めている。また、同社は年間 20%の利益成長を目標に、事業領域拡大にも熱心である。2024年4月に米国の半導体大手エヌビディアと覚書を交わし、エヌビディアのサービスデリバリーパートナーになることなどを取り決めている。

《2026年1-3月期業績》

2026年1-3月期の売上高は前年同期比 22.3%減の 12.4兆 VND(ベトナムドン)となっている。大幅な減収となっているが、これは通信及びデジタルコンテンツ事業を担当する子会社の FPT 通信が、筆頭株主の異動（ベトナム総投資公社からベトナム政府公安省へ）によって、連結子会社から持分法適用子会社になったことが影響している。グローバル IT サービスの売上高は同 10.4%増の 9.0兆 VND と伸び悩んだが、日本での売上高は同 18.8%増の 4.1兆 VND と好調だったほか、欧州の売上高も同 44.4%増の 0.9兆 VND と拡大基調を維持している。ただし、米国が同 3.8%増の 2.0兆 VND と伸び悩んだほか、中東の紛争の影響によってアジア大洋州が同 9.9%減の 1.7兆 VND となって足を引っ張った。国内が中心の IT サービス・システムインテグレーションの売上高は同 14.2%増の 1.8兆 VND と 2桁増収を確保した。投資・教育・その他の売上高は同 3.8%減の 1.8兆 VND となった。不採算の投資案件の整理縮小を進めたことが足を引っ張った。地方でのキャンパス設置、AI や半導体関連の新しい学部による学生数の増加によって教育事業は増収となった模様だが及ばなかった。なお、2026年1-3月期のグローバル IT サービスの受注高は同 22.2%増の 13.8兆 VND となっており、グローバル IT サービスを中核とした成長の勢いに陰りはないといえそうだ。

税前利益は同 7.3%減の 2.8兆 VND と減少したが、これも FPT 通信の連結方法の変更が影響している。連結子会社であれば FPT 通信の税前利益の全てが計上されるが、持分法適用子会社になった場合は持分損益のみが投資・教育・その他のセグメントの税前利益に組み入れられるため、その差額が税前利益の減少要因となった。AI などの先端技術に対応するための投資負担増加や売上高の伸び悩みによってグローバル IT サービスの税前利益は同 5.5%増の 1.4兆 VND にとどまったが、投資・教育・その他の税前利益は、FPT 通信の持分法投資損益の加算、新学部設置による学生数増加による教育事業の利益拡大、その他の投資事業の採算改善による利益拡大によって同 100.4%増の 3.0兆 VND となった。

純利益は一転して同 14.4%増の 2.4兆 VND となっている。FPT 通信の連結方法の変更によって税負担が低下したことや少数株主持分控除額が縮減したことが貢献した。総じてみれば、外部環境の悪化によって売上高はやや伸び悩んだが、グループの収益力強化によって先行投資の負担を吸収し、最終的な利益水準は引き続き 2桁の成長を確保したといえるだろう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会
主な事業 金融商品取引業

一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より 180 日

News20260508

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	16,058.1	13.9	16,624.7	9.0	17,204.5	8.2	20,225.5	14.9	12,480.0	-22.3
情報通信	14,351.4	15.0	15,133.6	9.4	15,751.4	9.1	18,744.9	17.5	10,841.6	-24.5
通信	4,464.7	14.9	4,565.2	11.9	4,708.3	8.1	4,963.7	8.2	-	-
デジタルコンテンツ	117.5	-7.6	209.8	38.8	221.4	9.9	256.1	14.0	-	-
グローバルITサービス	8,186.2	17.0	8,482.6	12.0	8,904.7	10.0	9,808.2	18.4	9,034.2	10.4
ITサービス・システムインテグレーション	1,583.0	7.5	1,876.0	-7.7	1,917.0	6.9	3,716.9	29.9	1,807.4	14.2
教育・投資・その他	1,900.6	0.5	1,774.9	3.0	1,740.6	-3.7	1,908.6	-5.6	1,828.2	-3.8
連結控除額	-193.9	-	-283.8	-	-287.5	-	-428.1	-	-189.8	-
税前利益	3,024.7	19.4	3,141.0	17.7	3,374.8	16.0	3,498.4	18.2	2,803.8	-7.3
情報通信	2,382.4	20.3	2,547.7	14.3	2,631.0	16.0	2,685.6	14.8	1,565.7	-34.3
通信	943.3	17.2	1,073.4	20.4	1,074.1	26.3	1,076.7	23.3	-	-
デジタルコンテンツ	23.5	15.3	55.8	32.9	57.5	1.2	59.7	23.6	-	-
グローバルITサービス	1,391.3	24.8	1,289.3	9.3	1,392.9	5.5	1,393.4	20.6	1,467.5	5.5
ITサービス・システムインテグレーション	24.2	-40.3	129.3	10.7	106.5	167.9	155.9	-40.8	98.2	305.1
教育・投資・その他	1,509.6	-7.9	1,557.8	31.7	743.8	13.5	4,393.9	9.4	3,025.2	100.4
連結控除額	-867.3	-	-964.5	-	-0.1	-	-3,581.1	-	-1,787.0	-
純利益	2,174.3	20.9	2,257.4	20.4	2,434.8	16.2	2,502.7	19.9	2,487.4	14.4

出所 会社資料をもとに当社作成

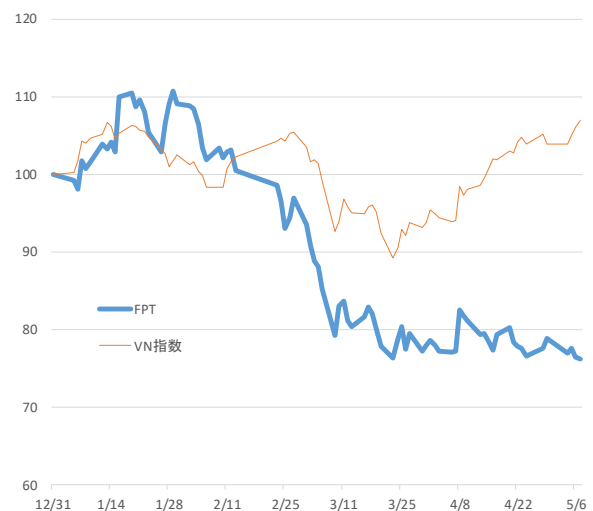
《株価の動向》

同社の株価とVN指数を2025年末の終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は2025年に引き続きVN指数に対してアンダーパフォーマンスを続けている。5月7日終値時点で、VN指数は2025年末比7%上昇したが、同社の株価は24%下落となっている。5月7日の終値73,000VNDで計算した同社の時価総額は124.3兆VNDで、これは2025年12月期実績の純利益9.3兆VNDに対して13倍の水準となっている。

2026年12月期の会社計画は、売上高が前期比16.4%減の58兆5,800億VND、税前利益は同10.8%減の11兆6,290億VNDとなっている。1-3月期実績の進捗率は売上高が21%、税前利益は24%となっている。進捗状況は概ね計画通りの進捗と評価することができるだろう。

なお、2025年12月期実績から通信とデジタルコンテンツを除いたベースの売上高は50.6兆VNDとなる。比較可能ベースで計算すれば、2026年12月期の計画は前期比16%増ということになり、表面上は減収減益の計画だが、実際のところはこれまでと変わりのないペースで成長を目指す計画と評価することができるだろう。

図表2 株価の推移



出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260508

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。